

外国人の受入れに関する委員会開催

第9回 外国人の受入れに関する委員会

2023年11月6日(月) 13:00～15:00 会場(東京都港区新橋1-12-9新橋プレイス 5階) AP新橋&オンライン開催

11月6日(月)、第9回外国人の受入れに関する委員会を開催し、今年度の活動進捗および今後の活動計画について報告・議論を行いました。

浜田座長の進行の下、【教育・就労・基本指針】それぞれにおける活動の進捗報告をすると共に、技能実習制度の見直しに係る有識者会議の最終報告書に対し、パブコメ等でさらに意見を出すことが決議され、教育については今後より実践的な活動を検討していくことが確認されました。



▲スィ 座長
▲浜田座長(株式会社ニッスイ 代表取締役
社長執行役員 最高経営責任者(CEO))



▲会場の様子

活動概要

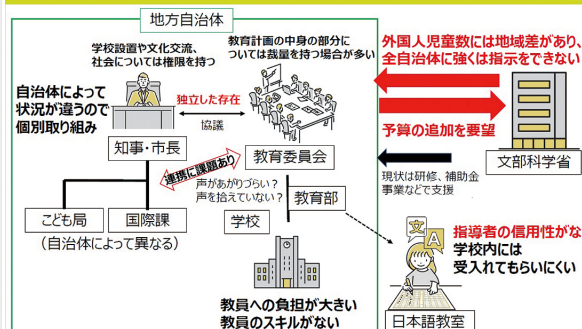
8

提言を作成、発信後、実現に向けた活動 及びベトナムや自治体の実態調査

テーマ	時期	活動内容
就労	～5月	●委員会での議論を踏まえ、「外国人の受入れ体制の構築に関する提言」を作成
	5月	●「外国人の受入れ体制の構築に関する提言」発信
	6月	●齋藤法務大臣へ、浜田座長より提言を手交
	7月	●JP-MIRAI企画として、ベトナム訪問 現地行政・国際機関・大使館・送り出し機関等を視察
	8月	●出入国在留管理庁 政策課長と意見交換
	10月	●全国市長会と面談
	10月	●緊急オンラインミーティング開催/意見表明の発信

各セクターの関係整理

34



連携が進まない組織構造になっていることが問題

【出席者のご意見(一部抜粋)】

- 外国ルーツを持つ子どもへの教育に対して、入管法上では就学へのインセンティブを設けるとともに、教育行政法等で子どもへの教育の責任について明示するように関係省庁へ働きかけていくのが有効だと思う。
- 意見表明で触れている職種分野の在り方について、スーパーマーケットのバックヤード作業など飲食物品製造と製造業で起きている接続不良の問題が抜け落ちてしまいかねない表現となっている。現在勤めている職場で、これからも受け入れを可能とすべきという表現にした方が適当ではないだろうか。
- 基本指針の採択・賛同が進まない要因として、人権デューディリジェンスに取り組み始めたばかりの企業だと、考える方向性は同じだが、合致しない部分もあり、調整を図った上で、態度を明らかにしようとしている可能性もある。